

熊本地震における JRATとしての活動

2016年6月7日レビュー
出端 垂由美

熊本地震

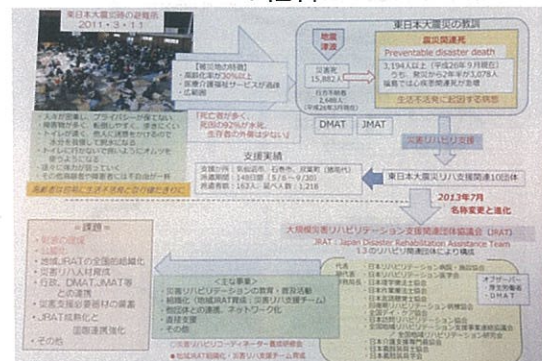
熊本地震は、2016年(平成28年)4月14日21時26分以降に熊本県と大分県で相次いで発生している地震である。気象庁震度階級では最も大きい震度7を観測する地震が4月14日および4月16日(未明)に発生した。



Japan Rehabilitation Assistance Team (JRAT)

東日本大震災リハ支援関連10団体を元に2013年7月JRATが設立された。JRATとは大規模災害時において、救急救命に継続したリハビリテーションによる生活支援により、生活不活発病等の災害関連死を防ぐことを目的とする団体である。

災害リハビリテーション支援体制確立までの経緯



The diagram illustrates the evolution of disaster rehabilitation support. It starts with the Great East Japan Earthquake (2011.3.11) and the formation of the Japan Disaster Relief Association (JDRA) in 2011. This led to the establishment of the Japan Disaster Relief Association (JDRA) and the Japan Disaster Relief Association (JDRA). The diagram also shows the formation of the Japan Disaster Relief Association (JDRA) and the Japan Disaster Relief Association (JDRA). The diagram also shows the formation of the Japan Disaster Relief Association (JDRA) and the Japan Disaster Relief Association (JDRA).

長崎JRAT第1陣(4月23日~4月26日)

Dr 1人
PT 2人
OT 1人

活動内容

栗原先生「見てくればいいから」何をすればよいかわからないが、話を聞いたり、診察をすればいいか。リハビリの知識は全くない。
私が行く利点:
①女性、②脳神経外科領域の診療ができる、③ペットを飼っている

本部: 熊本機能病院






避難所アセスメントシート

| | | | | | |
|---------------|--------------|------------------------|--------|------------|-----------|
| 避難所の概要 | 避難者数 (男性) | 数 | 人 | 数 | 人 |
| | 避難者数 (女性) | 数 | 人 | 数 | 人 |
| 避難所の広さ/スペース実態 | 避難所の広さ | 縦 | m | 横 | m |
| | スペース実態 | 床 | 畳 | その他 | |
| | | ※「適度」の目安は1人あたり2.5㎡(2畳) | | | |
| 避難所活動 | 管理団体の名称 | 氏名 (代表) | 連絡先 | | |
| | その他のキーパーソン | 氏名 (名称) | 連絡先 | | |
| 自主組織 | 支援組織 | 有・無 | (チーム数) | 人数 | 職種 |
| 避難所の設備状況 | トイレ | 有・無 | 近所設備 | 有・無 | 地域の関係との連携 |
| | 炊事場 | 有・無 | 洗濯 | 有・無 | |
| | 避難所の備品 | 食料 | 有・無 | 家具 | 有・無 |
| | ライフライン | 電気 | 有・不可 | ガス | 有・不可 |
| | | 水道 | 利用可・不可 | 利用可・不可 | |
| | | 固定電話 | 有・不可 | 携帯電話 | 有・不可 |
| | | インターネット | 有・不可 | インターネット | 有・不可 |
| | | 冷暖房 | 有・無 | (使用可・使用不可) | |
| | | 照明 | 有・無 | (使用可・使用不可) | |
| | | 調理設備 | 有・無 | (使用可・使用不可) | トイレ |
| | | 生活環境 | 屋内上至禁止 | 有・無 | 換気 |
| | | | 有・無 | 換気 | 有・無 |
| | | | 有・無 | ベットの設置 | 有・無 |
| 災害の経験 | 経験有 (経験内容は別) | 十分 | 不足 | 無 | |
| | | ※「十分」の目安は1日1回 | | | |
| | | ※「十分」の目安は1日1000キロのトイレ | | | |

| | A中学校 | B体育館 | Cセンター | D保育園 | E小学校 | F小学校 |
|-----------------|--------|---------|-------|--------|--------|------------|
| 避難者数 | | | | | | |
| 昼 | 100 | 20 | 0 | 15 | 80 | 50 |
| 夜 | 470 | 50 | 50 | 45 | 420 | 380 |
| 車中泊数 | 60 | | | | 80 | |
| 情報提供者 | 保健師 | 役場職員 | 役場職員 | 施設長 | 保健師 | 保健師 |
| 保健師数 | | 6(かけもち) | | | 4 | 3 |
| 食事 | あり | あり | あり | あり | あり | あり |
| 電気 | あり | あり | あり | あり | あり | あり |
| 水道 | 断水 | 断水 | 断水 | 断水 | 断水 | 断水 (井戸水あり) |
| 更衣室 | あり | なし | なし | なし | あり | なし |
| 風呂の設置 | あり | なし | なし | なし | あり | あり |
| 床 | フローリング | 畳 | 畳 | フローリング | フローリング | フローリング |
| 通路整備 | なし | あり | あり | あり | あり | あり |
| 避難者主体の環境整備 | なし | あり | なし | なし | なし | あり |
| 集団体操 | あり | なし | なし | なし | あり | あり |
| 避難所の評価に要した時間(分) | 60 | 15 | 15 | 30 | 60 | 80 |



通路整備



集団体操

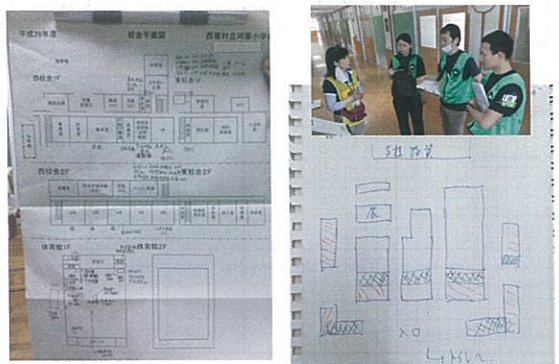


| | A中学校 | B体育館 | Cセンター | D保育園 | E小学校 | F小学校 |
|-----------------|--------|---------|-------|--------|--------|---------------|
| 避難者数 | | | | | | |
| 昼 | 100 | 20 | 0 | 15 | 80 | 50 |
| 夜 | 470 | 50 | 50 | 45 | 420 | 380 |
| 車中泊数 | 60 | | | | 80 | |
| 情報提供者 | 保健師 | 役場職員 | 役場職員 | 施設長 | 保健師 | 保健師 |
| 保健師数 | | 6(かけもち) | | | 4 | 3 |
| 食事 | あり | あり | あり | あり | あり | あり |
| 電気 | あり | あり | あり | あり | あり | あり |
| 水道 | | 断水 | 断水 | 断水 | 断水 | 断水 (井戸水あり) |
| 更衣室 | あり | なし | なし | なし | あり | なし |
| 風呂の設置 | あり | なし | なし | なし | あり | あり |
| 床 | フローリング | 畳 | 畳 | フローリング | フローリング | フローリング |
| 通路整備 | なし | あり | あり | あり | あり | あり |
| 避難者主体の環境整備 | なし | あり | なし | なし | なし | あり |
| 集団体操 | あり | なし | なし | なし | あり | あり |
| 避難所の評価に要した時間(分) | 60 | 15 | 15 | 30 | 60 | 80 |

西原村避難所



リハニーズの集約



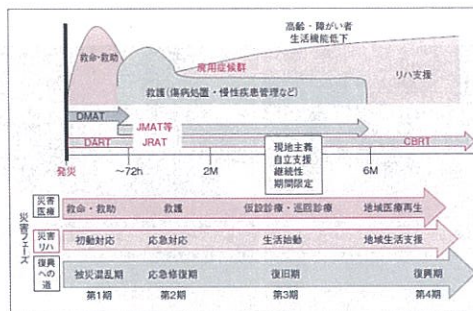
個別対応



JRAT第2陣に引き継ぎ



発災直後からの状況変化と支援

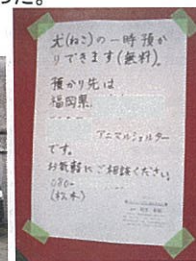


各フェーズにおけるリハビリテーション支援

| 災害フェーズ | 期間 | 復興までの道のり | 活動内容 |
|--------|----------------|----------|---|
| 第1期 | 発災直後 ～約72時間 | 被災混乱期 | リハ対象者状況把握(避難時受備者や廃用含め)、 情報収集、集約、発信(院内・院外) |
| 第2期 | 4日目 ～発災1か月末 | 応急修復期 | 被災医療機関・施設・避難所での現地災害対策 コーディネーターの指示に従ったリハ支援活動 |
| 第3期 | 発災2か月 ～6か月 | 復旧期 | リハ医(またはJMAT医や現地医師)指示のもとでの 直接的リハ支援、2次避難所における支援、現地 従事者に対する支援、被災者孤立化対策 |
| 第4期 | 発災6か月以降 | 復興期 | 地域リハ活動の側面的支援・助言 |

活動前に考えていた私が行く利点

- ①女性
 - ②脳神経外科領域の診療ができる
 - ③ペットを飼っている
- は残念ながらあまり生かされなかった。
⇒誰が行っても役に立つ。



JRAT活動を通して感じたこと

- 地域リハ施設の被災状況も把握したほうがよかった。
- 避難所や保健師によってJRATに求めるものが違う(体操のお兄さん、個別リハ)
- JRATとして介入するが、最終的には地元で完結できる体制が必要。
- 保健師さんは各種支援団体の対応で疲れている。
- 避難者の方も各支援団体のスクリーニングで疲れている。
- 災害フェーズによって活動内容が異なる。
- 地域・避難所コミュニティは大切。

現在のJRATの活動

| 実施地域 | 39名 | 参加団体の数 | 犬猫・動物・牛馬・鶏・豚・魚・鳥・昆虫・爬虫類・両生類・海鳥 | 5月16日実施 | |
|---------------|-----------------|------------|--------------------------------|-----------|------------------|
| 実施地域 | | | | | |
| 地域(自治体) | 保健福祉センター 児童館 | 総合体育館 | 津波分館 | 農工商 | 丘安小学校 丘安西小学校 |
| 地域(自治体・町会・学区) | 関船小学校 | 関船ホッケーセンター | スポーツセンター | 関船小学校 | 福住理髪所 葛島南民体育館 |
| 津島町 | | | | | |
| 大津・南津 | 大津市老人福祉センター | ホンダ研究所体育館 | 大津市総合体育館 | 大津地区公民館支店 | 大津南センター |
| 高原村 | 高原村福祉センター | 関船小学校 | 山西小学校 | 村民体育館 | 西原中学校 |
| 地区(中野区・南区) | 東本区総合体育館 | はろもてい | サンライズ熊本 | 大正公民館 | |